

今年も観客を魅了した「語り部」

1/20

「話楽座」が感謝の気持ちと練習の成果を語りで表現

中川根語り部の会「話楽座」(澤井初美会長)は、山村開発センターにて「第19回昔ばなし語り部まつり」を開催しました。

来場した約250人に対し、同会メンバー5人が川根地域に伝わる民話を披露しました。また、ゲスト出演の「おはなしどんぐり」や商工会「ディーアダンス」も公演を盛り上げました。

澤井会長は「これからも、語りを聞いてくれる皆さんと一緒に、民話が伝える『先人の教え』の尊さを分かち合っていけたら」と、今後の活動に向けた思いを話しました。



情緒豊かな語りで、観客を民話の世界へと引き込んだ

受験に向けて強い精神力を

1/23

中川根中の3年生が、智満寺にて坐禅(ざぜん)体験を実施

中川根中学校3年生25人は、高校受験を前に精神力を鍛えることを目的に、千葉山智満寺(上長尾区)にて坐禅体験を行いました。

生徒は、藤田眞光副住職に坐禅の作法について手ほどきを受けると、姿勢を整え心を落ち着かせて、30分間の座禅に取り組みました。

坐禅体験終了後、藤田副住職は「受験勉強は『辛い』ものだと思います。でも、自らの手で努力という行いをひとつ足すことで、皆さんにとって『幸せ』な結果へとつながるはずですよ」と、生徒に優しく呼び掛けました。



坐禅を体験した後、生徒らは副住職の案内で本堂を見学した

1/20

多様な舞が観客を魅了

伝統芸能の「梅津神楽」、2年ぶりに奉納

県指定無形民俗文化財の「梅津神楽」が接岨峡温泉会館(接岨区)で奉納されました。

多くの町民や神楽ファンが訪れる中、午後1時から9時間にわたり、梅津神楽保存会のメンバーや地元小学生らが次々に舞を披露し、五穀豊穡や家内安全、心身健康などを祈りました。また、全17演目の終了後には、特別な祈願の儀式である「ヘンバイ」も執り行われました。笑い声や歓声が響いた演目と打って変わって、厳かで張り詰めた空気の中で無事に儀式が終了すると、見物人からは拍手がわき起こりました。



華やかな切り飾りの下で優雅に奉納された(写真は「三宝の舞」)

1/23

受験生の頑張りを大鉄も応援

本川根中の3年生が、SLで護摩木を「完全燃焼」

本川根中学校3年生8人は、大井川鉄道千頭駅のホームにて、「護摩木」がSLの「かま」で燃やされる様子を見守りました。

この護摩木は、大井川鉄道が受験生を応援するために贈ったものです。生徒は、千頭駅のホームにSLが到着すると運転室に順番に乗り込み、運転士に護摩木を手渡しました。そして、1000度にも達するという「かま」の熱気に圧倒されながらも、志望校合格を祈願するメッセージが書き込まれた護摩木が完全燃焼する様子を目に焼き付けていました。



護摩木を運転士に手渡すと、かまの近くで祈願した

節分の意味学び、楽しく豆まき

2/2

町内の保育園で節分にちなんだ行事を開催

町内の保育園では、2月3日の「節分の日」にあわせて、園児がその風習を体験する行事が行われました。

三ツ星保育園では、園児49人が、豆を炒ったりヒイラギの葉とイワシの頭を割り箸につけた「やいかがし」を作ったほか、香花の葉で全身をなでてもらい邪気払いをしました。その後、教室に鬼が登場すると、園児は豆を投げつけて撃退しました。最後に、自分の年齢の数の豆を食べ、やいかがしを各教室の前に貼り付けて、1年の無病息災を祈願しました。



④こわい鬼に果敢に立ち向かった ⑤やいかがしを貼り付ける

「落ちない大石」にあやかり合格目指せ!

1/30

町内2中学校と川根高校に絵馬と合格祈願グッズを贈呈

本格的な受験シーズンを前に、寸又峡美女づくりの湯観光事業組合は、外森山にある「落ちない大石」にちなんだ合格祈願絵馬とストラップ、煎茶パック「落ちない茶」を町内2中学の3年生にプレゼントしました。

両校には天狗と組合員が来校して生徒を激励し、中川根中の太田なるさんは「入試まで残り2週間。最後まで諦めずに頑張りたい」と決意を新たに話しました。同組合では、昨年12月に川根高校の3年生にも絵馬や合格祈願グッズをプレゼントしました。



「最善を尽くしてほしい」と手渡した